

第48回

日本赤十字リハビリテーション協会学術集会

共催セミナー 特別講演3



日時：2022年2月27日（日）
11：00～12：00

会場：日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院
日赤愛知災害管理センター棟 3F マルチホールA
名古屋市昭和区妙見町2番地の9

『 活動促進による認知症予防 』

座長

日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院
医療技術部 リハビリテーション科 医療技術部技師長
第48回日本赤十字リハビリテーション協会学術集会長
細江 浩典 先生

演者

国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター
老年学・社会科学研究センター
センター長 島田 裕之 先生

共催：日本赤十字リハビリテーション協会



エーザイ株式会社

問合せ先

〒466-8650 名古屋市昭和区妙見町2番地の9

日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院 医療技術部 リハビリテーション科

E-mail: 48jrcra2021@nagoya2.jrc.or.jp

TEL: 052-832-5371 (ダイヤルイン)

<大会ホームページ>

<https://www.nagoya2.jrc.or.jp/rehabilitationka/dai48kainihonsekijuuujirihabirite-syonkyoukaigakujutsusyuukai/>



講師プロフィール

国立研究開発法人国立長寿医療研究センター
老年学・社会科学研究センター

センター長 島田 裕之



平成15年北里大学大学院博士課程を修了(リハビリテーション医学)。東京都老人総合研究所研究員、Prince of Wales Medical Research Institute(Sydney, Australia)客員研究員、日本学術振興会特別研究員、東京都健康長寿医療センター研究所を経て、現在は国立長寿医療研究センターに所属。名古屋大学、信州大学医学部、同志社大学の客員教授を併任。専門領域はリハビリテーション医学、老年学。高齢者の健康増進に関する研究を行っており、第10回社団法人日本老年医学会優秀論文賞、Geriatrics and Gerontology International Best Article Awardなどを受賞。

『 活動促進による認知症予防 』

身体活動の低下は、アルツハイマー病発症の強力な要因であり、運動習慣の獲得が認知症予防のための課題とされている。また、運動以外にも認知的、社会的活動が認知機能の向上に対して有効であるとする知見も多数存在する。メタ解析により、認知機能向上に対する活動の効果を検討したところ、どの活動でも認知機能の向上が期待でき、活動間での差は認められなかった。そのため、個人の状況や興味に合わせた活動を継続することが、認知症予防にとって重要であると考えられた。